

第1問

手稲山に最初のアンテナ（送信所）が建設され、利用され始めたのはいつでしょう。

- Ⓐ 昭和31年（1956年）
- Ⓑ 昭和32年（1957年）
- Ⓒ 昭和34年（1959年）
- Ⓓ 昭和43年（1968年）
- Ⓔ 昭和47年（1972年）
- Ⓕ 平成元年（1989年）



第2問

手稲山のアンテナ（送信所）を最初に利用して放送したのはどの放送局でしょう。

- Ⓐ NHK札幌（日本放送協会札幌放送局）
- Ⓑ HBC（北海道放送）
- Ⓒ STV（札幌テレビ放送）
- Ⓓ HTB（北海道テレビ放送）
- Ⓔ uhb（北海道文化放送）
- Ⓕ TVh（テレビ北海道）



クマオ くすん、くすん。全然分からなかったよお。
 博士 ほっほっほ。クマオくんにはちよっと難しすぎたかもしれないのう。
 クマオ 博士のいじわる。
 博士 すまんすまん。それは、クイズの解答も含めて、手稲山アンテナ群の歴史を少し紹介しようかのう。
 クマオ わーい。



アンテナ群の歴史

札幌圏でのテレビ放送は、今からおよそ50年前、昭和31年のNHK札幌の開局にまで遡ります。この時、アンテナ（送信所）として使用されたのは、大通公園に位置している「さっぽろテレビ塔」でした。これに対し、NHK札幌に次いで、昭和32年4月からテレビ放送を開始するHBCは旧手稲町（昭和42年札幌市

と合併）の手稲山にアンテナ（送信所）を設置し、放送を開始しました。これが手稲山に最初に設置されたアンテナになります。
 その後、昭和44年までに、「さっぽろテレビ塔」を利用して電波を送信していた放送局も手稲山にアンテナを設置し、すべてのテレビ放送局が手稲山からテレビ電波を送信するようになりました。
 現在、「さっぽろテレビ塔」からはテレビ放送用の電波は送信されておらず（NHK札幌のテレビ電波を手稲山のアンテナに向けて反射して送る「反射中継」は行われている）、主にFMラジオの都心向け中継放送所として利用されています。

博士 これでクイズの答えが分かったじゃろう。
 クマオ え〜と…どちらもBが答えかな。
 博士 正解じゃ。
 クマオ やった！僕、すごく勉強したような気分だよ。
 博士 それでは、最後にとっておきの問題を出そう。これは難しいぞ。
 クマオ 分かるかなあ…。

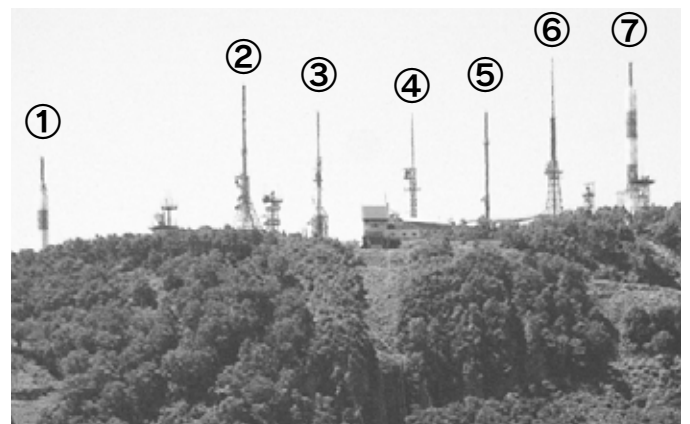


地上デジタル放送と手稲山

地上デジタル放送が昨年6月1日から開始され、アナログ放送は平成23年7月24日で放送が終了する予定になっています。

それに伴い、ここ数年でデジタル放送用のアンテナが新たに建設され、アンテナの本数は増加してきました。

データ放送やハイビジョン放送など、これからの情報化社会に向けて手稲山アンテナ群の重要性はますます高くなっていくことでしょう。



最後の問題はかなりの難問じゃ！これは区役所方向から撮影した写真じゃが、写っているアンテナ（鉄塔）のうち、デジタル放送の開始に伴い、新設されたものはどれか分かるかな？
 正解はこのページのどこかじゃ。



ヒント
 新設されたアンテナは2本です。

写真①NHK札幌、②NHK札幌、③NHK札幌、④NHK札幌、⑤NHK札幌、⑥NHK札幌、⑦NHK札幌
 札幌市役所、札幌市役所、札幌市役所、札幌市役所、札幌市役所、札幌市役所、札幌市役所
 (NHK札幌) (NHK札幌) (NHK札幌) (NHK札幌) (NHK札幌) (NHK札幌) (NHK札幌)